

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 8 月 18 日 (2016.8.18)

【公開番号】特開 2016-86431 (P2016-86431A)

【公開日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2016-030

【出願番号】特願 2015-251968 (P2015-251968)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/06 (2009.01)

H 0 4 W 52/08 (2009.01)

H 0 4 W 52/10 (2009.01)

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 52/06

H 0 4 W 52/08

H 0 4 W 52/10

H 0 4 B 1/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 5 日 (2016.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線送受信ユニット (W T R U) において 実行される方法において、
アップリンク (U L) リソース割当、電力制御 (P C) 補正コマンドおよび割り当てら
れた変調符号化セット (M C S) を示しているシグナリングを受信するステップと、
前記 U L リソース割当の帯域幅、オープンループ P C 成分、クローズドループ P C 成分
、および、オフセット値に関連したデルタ係数の組み合わせに基づいて、送信電力を決定
するステップであって、

前記オープンループ P C 成分は、経路損失およびオープンループ P C パラメータに基
づいており、

前記クローズドループ P C 成分は、補正係数を含み、

前記補正係数は前記 P C 補正コマンドに基づいており、

前記オフセット値は前記割り当てられた M C S に関連している、決定するステップと

、
 前記送信電力を適用するステップと
 を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記シグナリングは、U L グラントを含み、前記 U L グラントは、ハイブリッド自動再
送要求 (H A R Q) プロセスに関連付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の方
法。

【請求項 3】

前記送信電力を適用する前記ステップは、
ハイブリッド自動再送要求 (H A R Q) プロセスのタイミングに従って、前記送信電力
を適用するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 H A R Q プロセスのタイミングに従って、前記送信電力を適用する前記ステップは

、

U L グラントの受信に引き続く関連付けられた前記 H A R Q プロセスの次の送信時間において、前記送信電力を適用することを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記オープンループ P C パラメータは、セル固有パラメータおよび W T R U 固有パラメータの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記補正係数は、最初のアップリンク送信において、ゼロであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

最大送信電力レベルを示しているシグナリングを受信するステップ
をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記最大送信電力レベルは、(i) 前記 W T R U の電力クラスおよび (i i) 前記 W T R U の能力の少なくとも 1 つに基づいていることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記送信電力を適用する前記ステップは、
前記送信電力が前記最大送信電力レベルを下回っている条件で、前記送信電力を適用するステップを含むことを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記送信電力を適用する前記ステップは、
前記送信電力が前記最大送信電力レベル以上である条件で、前記決定された送信電力の代わりに前記最大送信電力レベルを適用するステップを含むことを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の方法。

【請求項 11】

アップリンク (U L) リソース割当、電力制御 (P C) 補正コマンドおよび割り当てられた変調符号化セット (M C S) を示しているシグナリングを受信し、
前記 U L リソース割当の帯域幅、オープンループ P C 成分、クローズドループ P C 成分、および、オフセット値に関連したデルタ係数の組み合わせに基づいて、送信電力を決定し、

前記オープンループ P C 成分は、経路損失およびオープンループ P C パラメータに基づいており、

前記クローズドループ P C 成分は、補正係数を含み、

前記補正係数は前記 P C 補正コマンドに基づいており、

前記オフセット値は前記割り当てられた M C S に関連しており、

前記送信電力を適用するよう構成されたプロセッサ

を備えたことを特徴とする無線送受信ユニット (W T R U) 。

【請求項 12】

前記シグナリングは U L グラントを含み、前記 U L グラントは、ハイブリッド自動再送要求 (H A R Q) プロセスに関連付けられていることを特徴とする請求項 11 に記載の W T R U 。

【請求項 13】

前記プロセッサは、

ハイブリッド自動再送要求 (H A R Q) プロセスのタイミングに従って、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 11 に記載の W T R U 。

【請求項 14】

前記プロセッサは、

U L グラントの受信に引き続く関連付けられた前記 H A R Q プロセスの次の送信時間に

において、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 3 に記載の W T R U。

【請求項 1 5】

前記オープンループ P C パラメータは、セル固有パラメータおよび W T R U 固有パラメータの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 6】

前記補正係数は、最初のアップリンク送信において、ゼロであることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 7】

前記プロセッサは、
最大送信電力レベルを示しているシグナリングを受信するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

【請求項 1 8】

前記最大送信電力レベルは、(i) 前記 W T R U の電力クラスおよび (i i) 前記 W T R U の能力の少なくとも 1 つに基づいていることを特徴とする請求項 1 7 に記載の W T R U。

【請求項 1 9】

前記プロセッサは、
前記送信電力が前記最大送信電力レベルを下回っている条件で、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 7 または 1 8 に記載の W T R U。

【請求項 2 0】

前記プロセッサは、
前記送信電力が前記最大送信電力レベル以上である条件で、前記決定された送信電力の代わりに前記最大送信電力レベルを適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 7 または 1 8 に記載の W T R U。